報告・協議２

グローバルリーダー育成校（仮称）新築工事に伴う基本・実施設計の

公募型建築プロポーザルの最終審査結果について

このことについて，別紙のとおり報告します。

平成 28 年 10 月 14 日

広島県教育委員会教育長　　下　﨑　　邦　明

グローバルリーダー育成校（仮称）新築工事に伴う基本・実施設計の公募型建築プロポーザルの最終審査結果について

平成28年10月14日
学びの変革推進課
営　繕　課

1　要旨

（1）このプロポーザルは，「国際社会の持続的な平和と発展を牽引するグローバルリーダー」を育成するとともに，県全体の教育水準向上を牽引する学校を計画する設計者を選定するために実施した。

（2）今回，プロポーザル方式により，グローバルリーダー育成校（仮称）新築工事に伴う基本・実施設計の受託候補者を特定した。

2　最終審査結果

特定者	グローバルリーダー育成校（仮称）設計業務　C＋A・土井　建築設計共同体 （構成員） 株式会社　シーラカンスアンドアソシエイツ （愛知県名古屋市中区大須3-5-13 HASE-BLDG.1 6F） 土井一秀建築設計事務所（広島県広島市西区庚午中3-4-25-202）

3　最終審査部会の講評（特定者の提案が評価された主な点）

・「学校づくり」では，国際バカロレアの授業も含めたハイブリッドな学習環境における，様々な集団規模での授業に対応できる平面計画がよく検討されており実現性が高い点。

・「配置計画」では，「寮」と「校舎」の間に地域交流を目的としたアリーナやコミュニケーションラインを伴った「街のような空間」を配置することで，これら３つのゾーンに分けられたプランのメリハリが効いており，寮から校舎へ街を通って登校する生徒の動線から「学習と生活のイメージ」が具体的に湧いてくる点。

・「施設計画」では，複雑なクラスター状の平面構成を「まなびの庭」や「みかん広場」を中心としたコネクターでつなぐことで一体性を生み出しており，諸室の重ね合わせも検討していける骨格のしっかりとした魅力的なプランである点。

・「施設整備方針」では，平成 31 年 4 月開校へ向けた段階施工の可能なプランが計画されており，実現性も高くコストバランスも良い点。

4　今後の予定

受託候補者である特定者と基本・実施設計委託の随意契約を行う。

【 参 考 】

（１）最終審査部会（公開プレゼンテーション）の実施状況

聴講者数　**２６２名（定員２０２名 ＋ 立見等６０名）**

提案者によるプレゼンテーション

県民の関心度が高く，会場は満席で立見となった

各局から取材を受ける内藤廣部会長

提案者が模型を使って説明

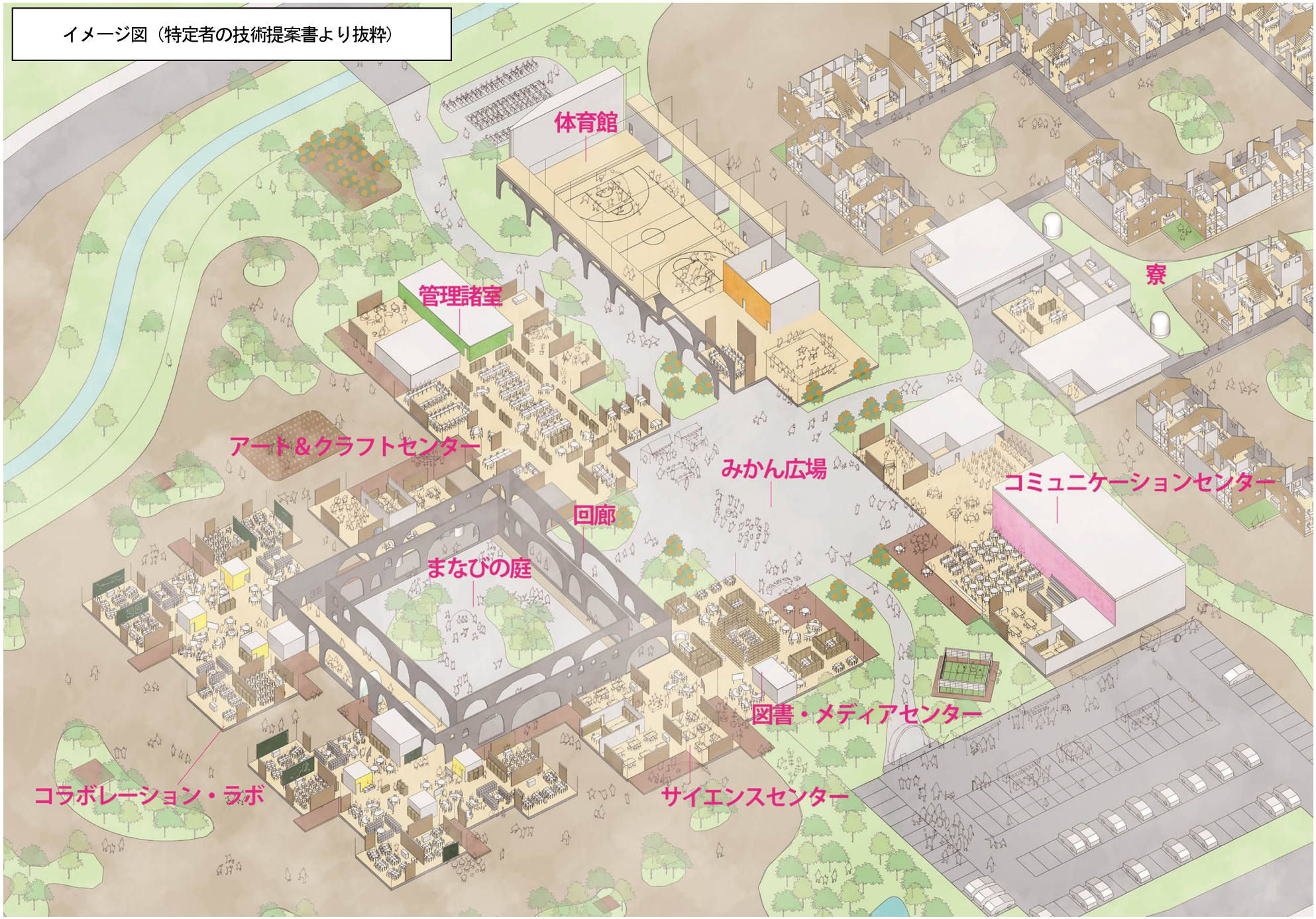
（２）審議経過

平成28年6月29日	審査部会（第１回）	評価基準，評価要領の策定
平成28年7月 8日	公募型建築プロポーザル公示	
平成28年8月 2日	参加表明書等の提出期限	25者提出
平成28年8月16日	審査部会（第２回）	技術提案書の提出者の選定（６者）
平成28年8月24日	技術提案書の提出要請	
平成28年9月 6日	技術提案書の提出期限	６者提出
平成28年9月15日	審査部会（第３回）	公開ヒアリング，技術提案書の特定

（３）広島県建築設計者選定委員会グローバルリーダー育成校審査部会委員一覧

委　員	氏　　名	所　　属　　等
部会長	内藤（ないとう）　廣（ひろし）	㈱内藤廣建築設計事務所　代表取締役／東京大学名誉教授
委　員	長澤（ながさわ）　悟（さとる）	㈱教育環境研究所理事長／東洋大学名誉教授
委　員	錦織（にしきおり）　亮雄（あきお）	㈱新広島設計　代表取締役／前広島県建築士会会長
委　員	亀山（かめやま）　英治（えいじ）	大崎上島町　副町長
委　員	宮地（みやち）　正人（まさと）	広島県土木建築局　建築技術部長
委　員	寺田（てらだ）　拓真（たくま）	広島県教育委員会事務局教育部学びの変革推進課長
委　員	吉村（よしむら）　薫（かおる）	広島県教育委員会事務局教育部高校教育指導課長

【参考】

※　提案者がイメージとして描いたもので，実際に建てる建物のパースではありません。

イメージ図（特定者の技術提案書より抜粋）